



流水の抱擁
Embrace of running water

建物内を流れる川は、まるで生命の血液。それは建築を潤し、活性化をもたらすような存在。川の流れる音と、水面からの光が空間に奥行きと穏やかさを与え、建物内部はまるで大自然への入り口かのような魅力を放つ。

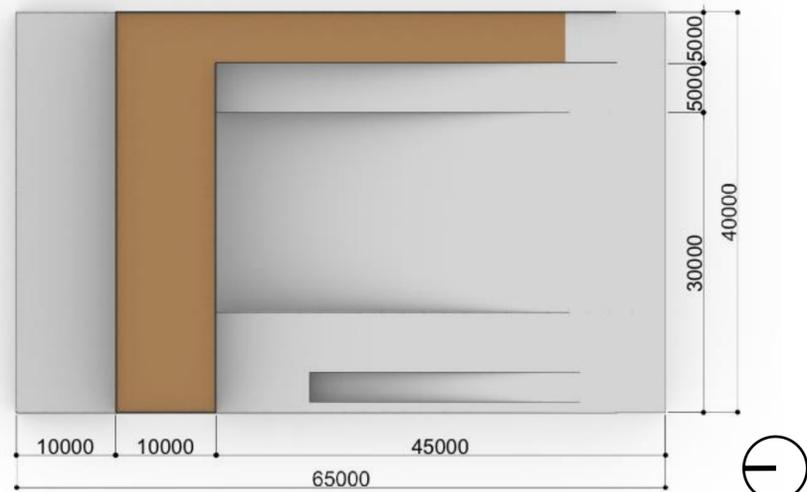


山川がもたらす安らぎの空間

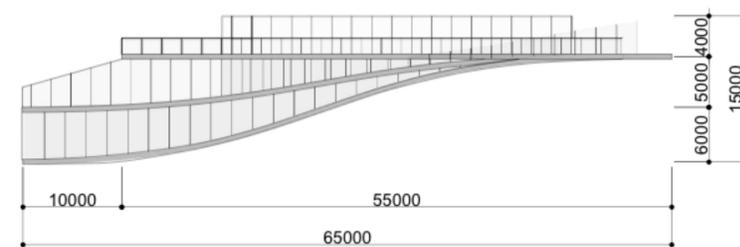
自然に包まれる空間でこそ人々は休息を得られるのではないか。また、建築を川が流れる地形に添わせることで、真っすぐな地面に建つものでは得られない空間ができるのではないか。大自然の中の川を建物の中に流し込むことで、水の流れを直に感じ、渋滞や長時間の移動で溜まった体の疲れ、ストレスが和らぐだろう。



この建築はグラウンドレベルを活かすことで、人々の心に寄り添う空間を構築している。グラウンドレベルに寄り添い建物を緩やかに曲げ、自然との調和を追求したフォルム。その柔らかな形状は人々の心にも寄り添い、自然の光や空気が、空間を包み込んでいる。

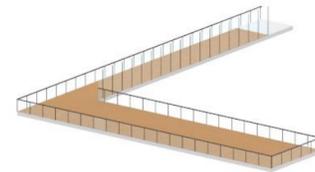


平面図 S=1/500

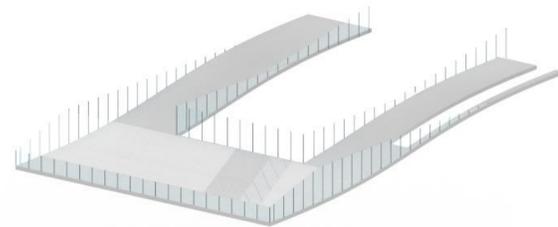


東立面図 S=1/500

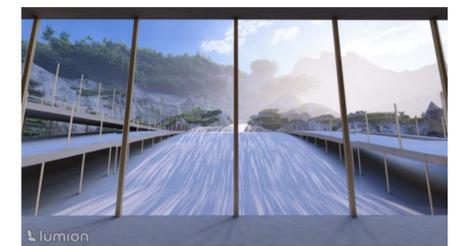
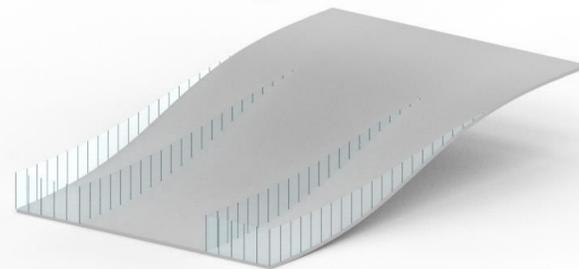
1F



B1



B2



川の水面が建物の表面に反射することで、建物が自然の一部として調和し、生命力を感じさせる。